

2013年6月27日(木)

ちよだプラットフォームスクウェア 402 会議室

- ◆ 委員長：中澤信夫 副委員長：久保田悟(議長) 金子純代
事務：熊谷一樹 室橋紅里子 書記：中山遼平
- ◆ 出席者(順不同)：斉藤威 田代和史 上松慮生 加藤文弥
- ◆ 開会 19:05

- ◆ 2013年海外派遣レース(ルーシャンカップ、メイヤーズカップ)
 - ・ JSAF 推薦枠の募集は期日までに応募がなかった。
 - ・ 主催者と直接連絡しているチームがあり、ヨットクラブの推薦による出場を検討しているとのこと。(中山)
 - ・ 今後は JSAF 推薦による出場チームを再募集する。エントリー期日は7月17日。
 - ・ PRの方法として、オンブリーズで再募集を行ってはどうか。(中澤)
 - ・ KYC、シーボニアなどのヨットクラブ HP に新着情報として載せてもらってはどうか。(金子)
 - ・ 上記について事務局に問い合わせる。(連絡担当・中山)
 - ・ その他の海外キールボート系レガッタの情報も JSAF の HP で公開している。

- ◆ キールボートシリーズ相模湾 2013
 - ・ 昨年の収支報告。(金子)
 - ・ 来年の開催に向けて、関係者と早期に打ち合わせを行う。各団体のスケジュールが決定する10月をめどに関係団体と協議する。その後、各オーナーに協力を依頼する。(金子)
 - ・ 東日本大震災のチャリティーレースなど、特定の目的のあるレースはジョイントしやすいのではないか。(久保田)
 - ・ 実行委員会を立ち上げ、各団体の代表者にも参加してもらおう。(斉藤、中澤)
 - ・ 作業分担を明確にする。(金子)
 - ・ HP は稲葉さんに維持してもらえることになった。(中澤)
 - ・ 将来的にキールボートシリーズを全国展開する上で、相模湾がモデルケースとなるかもしれない。一方で、まずは主旨を伝えてみてはどうか。各地域にマッチしたシリーズが開催できるかもしれない。(斉藤)

- ◆ 評議員会、理事会の報告(中澤)
 - ・ 昨年度決算を承認した。
 - ・ 「スポーツにおける暴力の根絶」に向け、JSAF では通報相談処理規定を制定し、窓口を設置した。

- 2020年東京オリンピック（予定）におけるセーリング競技運営の関連事項を協議した。
- 中澤委員長から、釜山セーリングフェスティバルについて報告を行った。
- 中澤委員長から、ネーションズカップアジア予選における坂本選手の優勝報告とナショナルチームとしての以下支援を提案した。エントリー費の援助、JSAF ナショナルチームユニフォームの貸与、J-Sailing への記事掲載。
- 大会後に結果と合わせて記事掲載を行う。他の案も今後検討する。

◆ その他報告事項

- 辛坊氏、岩本氏のエオラス号事故の経緯を確認した。
- 9月のNYYC インビテーションナルカップに向けて、植松 JSAF 副会長をリーダーとする JSAF 代表チームが活動中。
- タモリカップ（8月31日-9月1日、ベイサイドマリーナ）の案内。
- パシフィックキールボートチャレンジ2014（3月20-23日、オークランド）の案内。今年はニュージーランド、オーストラリア、ニューカレドニアの9チームで開催した。（中山）
- キールボートパーク構想について、日本財団に相談に行きたい。（斉藤）

◆ 閉会 20:30

- ◆ 次回委員会の開催日：8月1日（木）